



広 報 KOGA NO.27

こ が

古河



目次

- 2 地球温暖化防止月間
- 4 男女共同参画
- 6 交通事故・犯罪の防止
- 8 まくらが人物列伝

12 DECEMBER
2007

あなたの日々の生活から、地球温暖化STOP!

～12月は地球温暖化防止月間です～

今年の夏は記録的な猛暑となりました。8月16日には古河市の近隣である熊谷市で40.9℃を記録。74年ぶりに記録を更新し、地球温暖化を体感する出来事となったのではないのでしょうか？

このまま温暖化が進むと地球はどうなってしまうのでしょうか？

地球温暖化防止月間の12月。あらためて地球温暖化、家庭でできる地球にやさしい暮らしについて考えてみましょう。



地球温暖化をめぐる動向

昨今、サミットをはじめとする各国の首脳が集まる会議での主要な議題は、地球温暖化防止であるといえます。来年、日本で開催の洞爺湖サミットにおいての主要な議題の一つも地球温暖化となる予定です。また、今月、インドネシア・バリ島で国際会議が開催され、京都議定書後の温暖化対策のあり方が議論されます。

先ごろ、米国の前副大統領アル・ゴア氏とともに、IPCC(気候変動に関する政府間パネル：国連環境計画と世界気象機構が設立した世界でも著名な科学者の集まり)がノーベル平和賞を受賞したのも象徴的で、今や新聞紙上等で地球温暖化が話題とならない日はないと言っても過言ではありません。

地球温暖化がもたらす影響

よく知られているように、地球温暖化は、海面上昇、砂漠化、大型台風多発などの異常気象、生態系の破壊、熱帯化による疫病の広がり、などをもたらすと言われ、深刻な影響が予測されています。IPCCの議長であるR.パチャウリ氏は、温暖化対策は遅ればそれだけよりいっそうの気温の上昇を招き、対策の費用も増す、と朝日新聞とのインタビューで述べています。

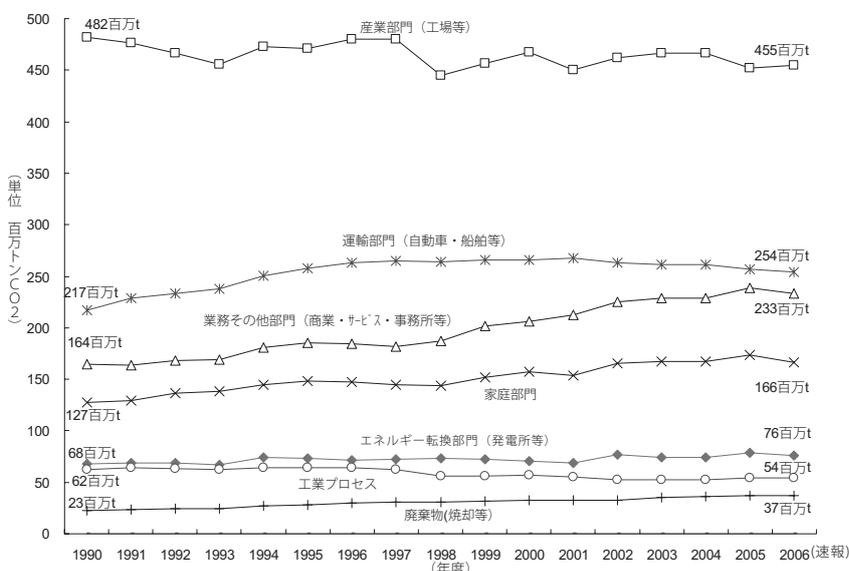
家庭からの地球温暖化対策

さて、この地球温暖化、確かに火力発電所や物流の輸送など、大量の二酸化炭素を排出する分野に進展がなければ問題の解決はみられない、と考えがちです。が、もう少し踏み込んで考えてみましょう。日本の排出する温室効果ガス(地球温暖化の主な原因で、そのほとんどが二酸化炭素)は2006年度で13.4億トン。これをさまざまな分野から排出別に整理し、1990年度からの推移を表したものが下図になります。直近のデータである2006年度の温室効果ガス排出量を分野別に考えてみる

と、業界では、日本経団連が温暖化対策環境自主行動計画をたて、目標値を達成するなど、1990年度と比較し、産業部門全体で5.6%の削減を達成しています。

しかしながら、一般の家庭からの二酸化炭素は増加し続けており、政府を中心にさまざまな啓発活動が行われているものの、なかなか実情としては実を結んでいない状況で、1990年度と比較して2006年度で30.4%も増加しています。逆に言えば、この分野で二酸化炭素削減の取り組みが定着すれば飛躍的な削減が望めるわけです。その意味で家庭での取り組みは重要であるといえます。

【温室効果ガス排出量】



【データ、図は環境省資料による】

マイホームISOに取り組んでみませんか？

古河市ではこの家庭からの環境保全、地球温暖化防止を地域のレベルから進めていくことを目的に「マイホームISO」を推進しています。家庭でできる地球温暖化防止対策、ごみ減量化など99のメニューから家庭ごとに5つほど選択、3カ月間に渡り実践をし、自ら取り組みについて評価していく仕組みです。継続をすることで相撲の番付を模したランキングが上がる仕組みもあり、最終的に環境横綱にもなれ、楽しく取り組めるものとなっています。

また、家族内で役割を決めて取り組みを進めることになっており、小さいお子さんのいる家庭では幼年時から環境に対する意識が芽生えることもねらいの一つです。結果として節約につながりますので、お財布にもやさしい「マイホームISO」。

ぜひ、家庭からの地球温暖化対策、次世代のため、始めてみませんか。

お申し込みは下記まで。古河市公式ホームページからもお申し込みできます。

【問】三和庁舎 環境政策課
☎76-1511



秋のイベントでごみ減量化運動が行われました！

【マイバッグ持参キャンペーン】

古河市の秋のイベント（総和関東ド・マンナカ祭り、手づくりまつり、さんさんまつり）でレジ袋削減に向けたマイバッグ持参運動が「古河市住みよい環境をつくる総和地区市民会議」、「古河市ネットワークワーカ―等連絡協議会」、「古河グリーン経済推進会議」の皆さんが主体となって行われました。

日本では、毎日約1億枚のレジ袋が消費され、ごみ問題の一因となっています。ド・マンナカ祭りに来ていたある主婦は、「家に使っていないマイバッグがある。これからできるだけ活用したい」と話していました。

環境省の統計によれば、6割の家庭ではマイバッグが使われていないままになっていると言われていきます。皆さんも今一度ごみ減量化に向けたマイバッグ持参、実践してみませんか？



▲そういえば、うちにもあったわ、マイバッグ

【デポジット運動】

去る、10月13日、14日の両日で行われた総和関東ド・マンナカ祭りにおいて、ごみ減量化に向け、再生可能な容器類を分別回収し、プラスチック製品に再品化するデポジット運動が行われました。

祭りの出店者の皆さまにご協力いただき、食べ物・飲み物の容器に10円分のシールを貼って販売。それを買った人が容器を回収コーナーに返すことで、10円が戻る仕組みです。デポジット回収コーナーへ容器を持ち込み、10円と交換した子どもたちのうれしそうな表情が印象的でした。

また、作業は、「高校生V.C.ふうせん」、「ボーイスカウト総和第2団」、「ガールスカウト茨城県支部第34団」、「総和高校生徒会」、「ネーブルポニークラブ」の皆さんがボランティアとして手伝ってくれました。大きなイベントでのごみ減量化がさまざまな人たちの協力で実践することができました。



▲いらっしゃい！10円と交換です！

男女共同参画社会実現のために 『あなたと私』みんなですすめましょう!

平成19年8月号に引き続き、男女共同参画社会実現をめざすための具体的事業をお知らせします。下記の一覧表は、平成23年度を目標とした具体的事業項目です。全庁的な取り組みで進めています。

【問】 総和庁舎(本庁)男女共同参画課 ☎92-3111

| 基本目標 | 指標項目 | 現況値 (H18年度) | 目標値 (H23年度) | 担当課 |
|-----------------------------|---|----------------|----------------|---------|
| I 互いの人権の尊重と男女共同参画意識の確立 | ①男女の固定的役割分担意識を持たない市民の割合（「男は仕事，女は家庭」という考え方に同感しない市民の割合） | 43.2% | 60% | 男女共同参画課 |
| | ②家庭生活において男女の地位が平等であるとする市民の割合 | 28.1% | 50% | 男女共同参画課 |
| | ③町内会や自治会等において男女の地位が平等であるとする市民の割合 | 28.2% | 50% | 男女共同参画課 |
| | ④社会通念や慣習において男女の地位が平等であるとする市民の割合 | 12.3% | 50% | 男女共同参画課 |
| | ⑤職場において男女の地位が平等であるとする市民・教職員・市職員の割合 | 26.7% | 50% | 男女共同参画課 |
| II あらゆる分野への男女共同参画の促進 | ⑥市の審議会等における女性委員の占める割合 | 22% | 35% | 関係課 |
| | ⑦市民公募を行っている審議会・委員会の数 | 5 | 10 | 関係課 |
| | ⑧女性委員不在の審議会・委員会の数 | 9 | 0 | 関係課 |
| III いきいきと働ける社会環境の整備 | ⑨農業家族経営協定締結戸数 | 145戸 | 170戸 | 農業振興課 |
| | ⑩休日保育実施保育所数 | 2施設 | 3施設 | 子ども福祉課 |
| | ⑪保育所入所待機児童数 | 28人 | 0人 | 子ども福祉課 |
| | ⑫子育て支援拠点の設置数 | 2カ所 | 5カ所 | 子ども福祉課 |
| IV 健康で安心して暮らせる生活環境の整備 | ⑬基本健康診査受診率 | 54% | 65% | 健康推進課 |
| V 国際的協調と国際理解の推進 | ⑭国際交流会外国人参加者数 | 84人 | 100人 | 企画政策課 |
| VI 男女共同参画社会実現のための推進体制の充実 | ⑮男女共同参画を推進する市民団体数 | 0団体 | 20団体 | 男女共同参画課 |
| | ⑯市の管理職員のうち女性職員の割合 | 9.6% | 30% | 職員課 |

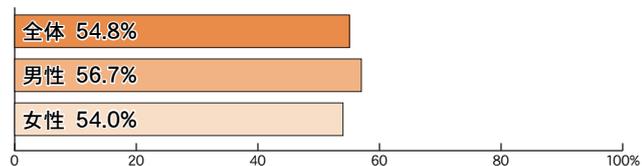
男女共同参画推進委員会が調査を実施しました！

10月13日・14日に開催された「総和関東ド・マンナカ祭り」の来場者を対象に、「男女共同参画社会」について調査しましたので、その結果を抜粋でお知らせします。

【合計927人(男性284人・女性643人)】

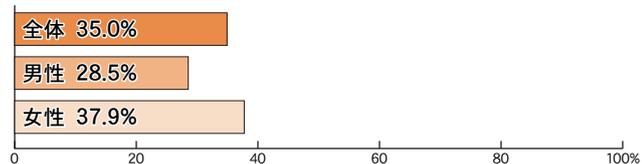
「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか？

■知っている



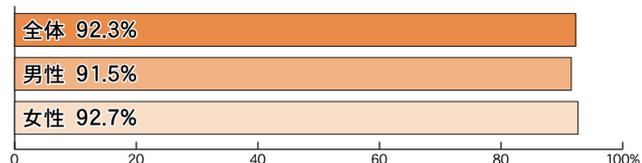
広報古河の6月号「特集 男女共同参画プラン」の記事を読みましたか？

■読んだ



男女共同参画社会を進めるために「男女共同参画推進条例」は必要だと思いますか？

■必要だと思う



男女共同参画を推進している中で、「男女共同参画社会」という意識は、徐々に浸透しつつあります。

広報紙の特集記事を読んだ人は全体の35%でしたが、男女共同参画を進めるための「条例の必要性」については、関心度が高くなっています。今後も、積極的な啓発活動が必要と思われます。ご協力していただいた皆さん、ありがとうございました。



「パートナーシップin古河2007」 ～共に手をたずさえてハートtoハート～

期 日 12月8日(土)

会 場 とねミドリ館(生涯学習センター総和)

参加費 無料 ※保育ルーム有り(予約制ですので、ご希望の方は男女共同参画課まで申し込みください)

プログラム

午前11時40分 開場

午後 0時10分 オープニングスピーチ
(男女共同参画推進委員会委員)

午後 0時30分 パネルディスカッション
「地域の男女共同参画」
コーディネーター 長谷川幸介氏
(茨城大学生涯学習センター准教授)

午後 2時00分 講演「歴史の中の男女共同参画」
永井路子氏(作家・古河大使)

▶保育ルームがありますので、安心して「パートナーシップin古河2007」に参加してください



交通事故・犯罪の防止

交通事故や犯罪から身を守るう

今年10月22日現在の古河警察署管内で発生した交通事故(人身事故)は810件で、7人が亡くなっており、7人中4人が65歳以上の高齢者でした。

また、最近古河市内で「ひったくり」「自転車盗」「自動車盗」等の犯罪も多くなっています。

年末年始は交通事故や犯罪が多発しやすい時期です。交通事故や犯罪から身を守るために、もう一度考えてみましょう。



交通安全

○ 高齢者の交通事故防止

高齢者の交通事故の主な原因は、横断禁止場所の横断や信号無視によるものです。高齢者の歩行者や自転車は、運転者が止まってくれると思い、急に横断や進路変更をすることがあります。運転中に高齢者を見かけたときは、安全な間隔をとり、スピードを抑えて、不意な動きに対応できるようにしましょう。

交通事故防止のポイント

- ・急な横断や進路変更は大変危険です。近くに横断歩道や自転車横断帯がある場合には、少し遠回りでもそちらを利用しましょう。
- ・夕方や夜間の外出時には、車から目立つように明るい色の服装や反射材を身に付けましょう。



○ 自転車の交通事故防止

自転車はだれでも気軽に利用できる便利な乗り物ですが、乗り方を間違えると大変危険です。ルールやマナーを守って、安全に自転車を利用しましょう。

交通事故防止のポイント

- ・自転車は車道左側通行が原則。歩道は例外。
- ・歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行。
- ・飲酒運転、2人乗り、並進の禁止。
- ・夜間はライトを点灯。
- ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認。



道路交通法の一部改正 (平成19年9月19日施行)

後を絶たない飲酒運転による交通死亡事故抑止のため酒酔い運転等に対する罰則強化のほか、飲酒運転をする恐れのある人に、「車両の提供」「酒類提供」した人や飲酒運転の車に「同乗」した人に対し、道路交通法による罰則が定められました。



防犯対策

○ひったくり

ひったくりの犯人は人通りの少ない場所で一瞬のスキを狙ってきます。自転車やバイクを使い、バッグを奪い取って逃走するケースがほとんどです。

古河市でも駅周辺や水海小学校周辺で、自転車・オートバイを利用したひったくりが9月から11月の間に4件発生しています。

ひったくり防止のポイント

- ・ 接近してくる自転車・オートバイに注意する。
- ・ 道を歩くときは車などが通る側と反対にバックを持つ。
- ・ 自転車では前かごカバーを利用する。



○自転車盗

自転車を盗む犯人の多くは、歩くのが面倒くさいといった簡単な動機から犯行を起こしています。

古河市では駅周辺で自転車盗が多発しています。被害件数は昨年の約1.5倍です。盗まれた自転車の4割は鍵が掛かっていませんでした。

自転車盗防止のポイント

- ・ 鍵を必ず掛ける。
- ・ 鍵をもう一つ付ける(ツーロック)。



○自動車盗

自動車盗の手口はピッキング、赤外線や電波を使用したワイヤレスキーの不正開錠など、どんどん巧妙化しています。

古河市でも自動車盗の被害件数が増加しています。特に三和地区・総和地区で普通貨物(トラック)やトラクターなど作業用車両の盗難が目立っています。

自動車盗防止のポイント

- ・ 駐車場にセンサーライトを設置する。
- ・ ハンドルロックを利用する。

自転車には防犯登録の制度があります。登録することで、犯人が狙いづらくなったり、盗まれた際の早期発見が容易になったりします。

悪質な電話・メールにご注意を!

悪質な振り込め詐欺の電話が依然として多く、被害に遭う人が後を絶ちません。お金を振り込む前にひと呼吸おいて家族や警察などに相談しましょう。

悪質ないたずら電話、メールも多くなっています。安易に答えず、毅然とした態度で対応しましょう。また、興味本位でメールを受けたり、インターネットのサイトに入ることも危険です。十分注意しましょう。

【問】 総和庁舎(本庁)交通防災課 ☎92-3111

まくらが人物列伝



初見八郎

第6回

初見八郎

(1861~1930)

古河市立八俣小学校の南に隣接する東山田公園内には、農地改革記念碑や忠魂碑など高さ4メートル前後の石碑がいくつも林立していますが、中でも木立に隠れるように建つ「東山田郷有林記念碑」は高さ5メートルを超す大きな石碑で、市指定文化財になっています。この石碑の撰文を担当したのが地元出身の衆議院議員・初見八郎です。

初見八郎の略歴

初見八郎は、江戸時代末期の文久元年(1861)3月に東山田村の豪農の家に生まれ、幼くして漢書を、その後外国語を学んだといえます。

明治13年(1880)には、「東洋のルソー」と呼ばれた中江兆民

(1847~1901)が東京に開いた「仏学塾」に入って「フランス学」を修め、卒業後はその教授となって同塾が発行した『政理叢談』に執筆したり、『仏和辞林』(仏和辞典)の編さんなどに携わったりしています。明治22年(1889)に高知に開校した泰平学校でフランス学を担当しますが、翌年にはまた東京に戻って、中江兆民が主筆となっていた『政論』(日刊)や『立憲自由新聞』などの新聞記者となり、明治24年以降は著述・翻訳に従事していました。

そして明治27年(1894)の第3回総選挙において地元の茨城県第4区から立候補して衆議院議員に初当選、その後第6回(1898年)・第7回(1902年)・第12回(1915

年)の総選挙で当選するなど三和地域出身者としては唯一の国会議員として地域発展に力を尽くし、昭和5年(1930)5月31日に死去しました。終焉の地となったのは明治39年(1906)以来住んでいた鎌倉で、墓は神奈川県鶴見区の総持寺にあります。

東山田郷有林下げ戻し運動と初見八郎

この初見八郎が撰文を担当した「東山田郷有林記念碑」は、江戸時代以来の共有林が明治維新後に国有林とされてしまったことから八俣村が国に対して下げ戻しの行政訴訟を起こして勝訴したことを記念して、大正5年(1916)に建立されたものです。この東山田郷有林下げ戻し運動は、明治時代に地方の小村が国を相手取って訴訟を起こして勝利した数少ない事例として、地方自治の歴史上ひじょうに有意義なものであり、その支援に初見八郎も深くかかわっていたのです。ちなみにこの石碑の文字は書家としてたいへん著名な比田井天来(鴻)が揮毫したもので、それに関する初見八郎宛のはがきも残されています。(三和資料館)



▲東山田郷有林記念碑

多彩に富んだイベントが開催されました!!



地域の絆
が深まった
運動会

▲第33回古河市三和地区市民運動会(10月7日)



▲第35回古河市総和地区市民運動会(11月3日)

色とりどりの「菊花」が
展示された
菊まつり



▲第2回古河菊まつり(10月27日～11月23日)



▲第61回古河市古河地区市民運動会(10月14日)

たくさんの人で賑わったまつり



▲第9回総和関東ド・マンナカ祭り(10月13日・14日)



▲第27回三和産業祭・さんさんまつり(10月28日)



▲古河よかんべまつり(11月3日・4日)

美しい自然を守ろう 利根川クリーン作戦

10月28日、古河市河川をきれいにする運動部会による「利根川クリーン作戦」が行われました。

参加者は地元企業や行政区、高校生ボランティアなど154人。利根川堤防周辺(延長7.3km)を4班に分かれてごみを拾いました。

集まったごみは、空き缶やペットボトル、紙くずなど460キログラム。2トントラック2台分の量です。

皆さんの協力で、利根川周辺がとてきれいになりました。利根川の美しい自然環境をみんなで守っていきましょう。



▲「いいことをするのは気持ちいいね！」と話しながらごみを拾う参加者の皆さん

訓練の成果を発揮 ポンプ操法競技大会

10月28日、第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会が広域中央運動公園イベント広場で開催されました。この大会は、出動態勢から放水までの確実な操作と時間を競うものです。市民生活を災害から守る7市3町、14の消防団が出場し、全力で競技に臨み、日々の訓練の成果を発揮しました。

結果は、古河市三和消防団が5位、古河市古河消防団、古河市総和消防団が敢闘賞となりました。これからも市民のために頑張ってください。



▲火点に向かって全力疾走

湯西川ダム 水源地交流事業

11月1日、総和老人福祉センター「せせらぎの里」の浴場に栃木県日光市の日向温泉の湯10㎡(10トン)が贈呈されました。

これは、湯西川ダムの建設が進められている日光市栗山地区と湯西川ダムの水を利用する茨城県との間で行われている交流事業の一つで、水の貴重さや水資源の重要性についての理解を深めることを目的としています。

温泉に入ったお年寄りの皆さんは「肌がすべすべになった。右膝痛が和らいた気がする」と入浴の感想を話していました。



▲日向温泉はリウマチや神経痛などに効果があるといわれています

国民文化祭に向けて リハーサル

国民文化祭は国体の文化版ともいわれ、来年度は茨城県を会場として開催されます。古河市でも「古河の文学散歩道フェスティバル」と題して、平成20年11月1日～9日の会期中、さまざまなイベントを予定しています。

この国民文化祭の準備を兼ね

て、11月3日に「プレ国民文化祭」が歴史博物館堀周り及び鷹見泉石記念館で開催されました。オープニングセレモニーは、和太鼓による音の共演。迫力ある演奏が観客を魅了しました。日が暮れはじめると、火の燈されたあんどんが、博物館堀周りに浮かびあがります。文芸作品を題材に制作されたあんどんが「文学の路」をつくり、ステージでピアノと二胡が

奏でられると、会場は幻想的な雰囲気になっていました。



▲国民文化祭では、文学・歴史の街、古河市を広く全国にアピールします

芸術と文化の秋を楽しむ

古河市内には、芸術・文化活動をしている人がたくさんいます。そんな皆さんの活動を発表する場として、9月22日から約2カ月にわたって古河市民文化祭が開催されました。期間中に開催された催しは40以上。古河市全体が芸術・文化のまちとなりました。



▲総和会場の総合展では、絵画や書、写真など6科目で700点以上の作品が出展されました



▲古河会場の総合展では、作品を見たあとにお茶とお菓子をいただきました



▲三和会場の総合展。力作ぞろいに足が止まります

日々新たなり

古河市長 白戸仲久

～価値ある資源～

花火大会が行われた8月4日、(財)日本書道教育学会から2名の方が来市され、古河歴史博物館、篆刻美術館を見学された後、夜には花火大会を楽しみ、たいへん喜んで帰京されました。

一人は元参議院議員で同会顧問の久世公堯先生。もう一人は同会本部事務局長の石橋剛先生です。たいへんありがたいことに、お二人は後日それぞれ書道雑誌に古河市のことを全国で紹介してくれました。

そこで今回は、石橋先生が篆刻美術館を訪れ、そこでたいへん感銘を受けたことについて、同会月刊誌「不二」に古河市訪問記と題して述べておられますので、市民の皆様にご紹介をさせていただきます。

石橋先生いわく、「日本初の篆刻専門の美術館で、単に作品を展示するだけでなく実際に篆刻実技体験ができる設備までも揃っている。……中でも感心したのは、古河市において現代の高校生が数々の篆刻作品を出品し、その文化を現世に継承しようと活発に創作活動を行っていることである。……古河市のこのような取り組みに見られるのは、歴史ある伝統文化を現

代に継承しようという姿勢である。篆刻は数ある伝統文化の一つに過ぎないが、このような小さな試みの数々が、歴史、文化、伝統を現代に受け継いでいく確かな礎となる。技術革新、ハイテク、情報の洪水に飲まれた混沌としたこの時代に、今一度歴史を振り返り、万象の価値を見直そうという動きは確実にみられると私は感じている。……」

このようにたいへん嬉しい評価をいただきました。古河市に住んでいるとついつい見逃しがちな価値(資源)を、外部の目からの評価で改めて認識した次第です。

篆刻美術館に限らず市内にはたくさんの価値ある資源があります。これらをどれだけ活用できるか、「古河市のまちづくり力」が問われています。



▲「篆刻美術館」は日本初の篆刻専門美術館です

My Hobby

いつまでも心身さわやか！

いまます なつみ
今増 奈津美さん(尾崎)



▲本格的な冬の到来まであと少し。日に日に寒さが増しますが、そんなときは体を動かして、体を温めましょう！

(勸古河市体育協会に所属するアマチュアボクシング連盟では週1回、約40人が参加する「健康ボクシング教室ボクササイズ」を開催しています。今回は、この教室に通っている今増奈津美さんに話を伺いました。

ボクシングとの出会い

ボクシングとの出会いは2年前で、友人に誘われたのがきっかけ。ボクシングのイメージは「殴り合い」という恐いイメージでしたが、学生時代からバレーボール部で汗を流し、卒業後は三和保育園の保育士として子どもたちと一緒に日々汗を流している今増さんは、小さいころから身体を動かすこと

パークライフ 《みんながつどう「平成館」(ネーブルパーク研修センター)》

ちまたでは「クリスマス・ソング」がにぎやかに年の瀬を感じさせる今日このごろ、あっという間の1年でした。今年もネーブルパーク「平成館」では、たくさんの人にご利用いただき深く感謝するとともに、お客さまとのさまざまな「出会い」を重ね、思い出が走馬燈のように心に浮かびます。

「春」…… 甲子園を目指し遠く秋田県より合宿利用いただいた高校生の皆さん。会社の社員研修で緊張されながら長期の宿泊研修をされた新入社員の皆さん。

「夏」…… 地元のみならず県外からもいらっしやっした家族連れやスポーツ少年団の皆さん。

「秋」…… 待ちに待った宿泊学習で楽しそうに過ごされていた養護学校の皆さん。

「冬」…… 中学校の同窓会のご利用で旧交を温められた皆さん。そして、年間を通して研修・総会等にご利用いただいた企業や各種団体の常連の皆さん…… 思い出はつきません。

皆さまのご利用目的はさまざまですが、これから

も平成館は、常に「人と人」との結びつきを深める空間として、「思い出づくり」に少しでもお役立ち出来るよう心掛けてまいります。

そこで今回、平成館では「みんながつどえる空間」をコンセプトに「期間限定宿泊パックつどい」と銘打ち、一泊二食付きでの特別プランを下記の通りご用意いたしました。冬の落ち葉も味わい深いネーブルパークで、気のおけない仲間と語らうことで、心も体もリフレッシュしていただければ幸いです。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。



▲気の合う仲間と「乾杯！」

○場所 ネーブルパーク内「平成館」
○利用期間 (前期) 12月1日より12月26日泊まで。(後期) 2月2日より2月29日泊まで。※ご予約日は空室状況により相談
○利用内容 大人2名様より一人5,500円。小中学生・幼児も別途承ります。○ご予約は下記へお問い合わせください。

【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」☎92-9111

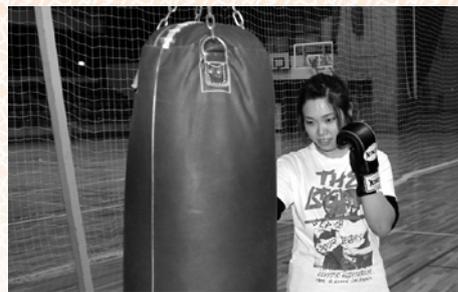
が大好きだったので、「とにかくやってみよう！」
と思い、始めました。それからというものボクシン
グの魅力にひかれ、元気はつらつです。

美容と健康に最適!?

このところ女性に人気の「ボクシングエクササイズ」
。エアロビクスのように、音楽に合わせてリズム
ミカルに動きますが、その動作の中に、ジャブ・ス
トレート・フック・アッパーなどの手の動きが組み
合わさります。「普段使わない筋肉を使うので、
新陳代謝を高めて日ごろの運動不足が解消できま
す！」と爽やかな汗が似合う今増さん。

その他に、ストレス解消(?)に効果的なサンド
バック打ちやミット打ちなどを取り入れており、
この日も「バシッ!バシッ!」と力強いグローブ音
が、体育館に響いていました。

▶サンドバック
はダイエットと
ストレス解消
にうってつけ
です!



人との出会いを大切に

健康ボクシング教室には、中学生から高齢者の人
が参加しています。「普段、仕事上で知り合うこと
がない人たちから、世代を超えた幅広い話を聞くこ
とができるので、人生勉強にもなってます。とても
楽しいですよ!」「指導してくれる先生もとても優
しく、楽しい雰囲気の教室です。皆さんもぜひ一度
参加してみたいはいかがですか?」と笑顔で話してく
れました。

文化財の窓 古河市域の神楽

古河市域には、茨城県指定無形民俗文化財の^{おおわ}大和^{だいわ}田^た磐^い戸^と神^か楽^{くら}、古河市指定無形民俗文化財の^{なかだ}中^な田^た永^え代^{だい}太^{たい}々^{たい}神^か楽^{くら}、柳^{やぎ}橋^{はし}磐^い戸^と神^か楽^{くら}が現存します。神楽の呼称は異なりますが、いずれも日本神話を題材とした「^{じゅうに}十二^に座^ざ神^か楽^{くら}」と呼ばれる系統の神楽です。

さて市域3地区の神楽のはじまりは、いずれも近隣の神社の神官たちが結束して神楽を取り入れ、彼らの手によって演奏し舞う神楽土団を組織して、それぞれの神社に出向いて奉納したことによるとされています。つまり当市域への神楽の伝来は同時期ということになります。その時期は、地区により江戸時代の享保^{きょうぼう}年間(1716~36)とも宝暦^{ほうれき}年間(1751~64)とも伝えられていますが、はっきりしたことはわかりません。ただ、中田には「享保十六年亥三月十五日」の墨書銘を持つ神楽面がありますから、前述の神官たちの奉納説からすれば、古河市域への伝来時



▲中田永代太々神楽

期は少なくとも享保16年以前ということができるでしょう。

こうしてはじまったこれらの神楽は、明治時代から昭和時代の初期にかけて神官たちの手から各神社の氏子に移管、伝授され現在に至っています。現在に継承されるまでには、戦争や後継者不足などのさまざまな要因により一時的に中断したところもあります。しかし、そのつど神官たちや地域住民のエネルギーによって復活してきました。そういえば、一般的に神楽の語源は「かむくら(神座)」であるとされ、神座に神々を迎えて祈ることにより、人間に生命のエネルギーを与え、長命や再生をもたらすものであるとされています。まさに、神楽がもたらしてくれたエネルギーが、3地区の神楽継承^{ひとやく}に一役かってくれたのかもしれない。

(文化課文化財保護係)

■旧古河藩医、河口家医学関係資料が県指定文化財になりました！

歴史博物館にて、企画展「医学史資料の宝庫 河口家歴史資料の世界」を開催中

明和7年(1770)、医者の手による日本最初の解剖が実施されました。執刀医の名は、河口信任(1736-1811)、頭部と眼球を含めた全身解剖という点でもわが国初の成果です。

河口家は、天和元年(1681)、蘭方医学の家として古河藩土井家に仕えてから大正8年(1919)まで、日本を代表する蘭医として活躍、また古河を中心とする地域の医療のために尽力してきました。その資料的価値

の高さが評価されて、河口家に伝えられた文物中、896点がこのたび茨城県有形文化財に指定されました。

企画展示室にて、この貴重な河口家医学関係資料を陳列公開中です。12月9日(日)まで。



▲「解剖刀」(県指定文化財)

■修理でよみがえる鷹見泉石の絵地図 歴史博物館にて展示公開中

展示室Iでは、現在、国指定重要文化財「鷹見泉石関係資料」の絵地図を公開しています。泉石が作成・収集した絵地図は、770点にもおよぶ膨大なものですが、いずれも経年劣化による料紙の糊離れといった破損が進行し、そのままでは展示公開を行えませんでした。そこで当館では、平成17年度より国・県の補助事業としてこれらの文化財の修理を開始、修復なった文化財を順次公開しているところです。

最先端の科学技術と千年にも及ぶ伝統の修復技術—泉石の文化財修理は、それ自体「選定保存技術」という国の文化財に認定されている工房で進められる事業。この展示では、一般公開されることのない工房における高度な文化財修理技術の一端もあわせて紹介しています。12月24日(月)まで。

【問】古河歴史博物館 ☎22-5211

図書館おすすめの図書

◇一般書

・足尾銅山物語

小野崎 敏 著



足尾銅山が栄えたために、明治期から大正期にかけて「鉦都」と呼ばれるほどの近代都市となった足尾町。しかし鉦害や労働争議なども起こり、近代文明の光と影を織り成す地でもあった。日本の「鉦都」をめぐる29の物語。

出版社…新樹社 分類・562オ

◇児童書

・ブルーバック

ティム・ウィントン作 小竹 由美子 訳



「わたしたちは海からきたんだ。海がわたしたちの故郷なんだよ。」豊かにあたえ、そして奪う海を、終生愛し守りぬいたドラ。その心は息子に、そして孫へとうけつがれる。

大きな青い魚、ブルーバックに見守られながら…。

出版社…さえら書房 分類…933ウ

(三和図書館)

健康情報局

乳がん検診を忘れずに

日本では、乳がんにかかる人が増えています。年間約4万人が新たに乳がんを発症していると推定されています。最近の統計では、乳がんにかかるのは30代から徐々に増えて40代後半が最も多くなっています。乳がんの早期発見には、自己検診と症状がなくても乳房エックス線撮影・超音波検査等の定期健診を受けることが大切です。

○自己検診

乳がんは自分で乳房を見たり触ったりして発見が可能ながんです。毎月、月経が終わった1週間ぐらい後に、閉経後の人は月に1度、日を決めて自己検診を行いましょう。

①まず鏡の前に立って両手を下げたまま、左右の乳房を鏡に映してみましょ。乳房にくぼみやひきつれたところがないか、乳頭がただれたりしていないか見てみます。正面だけでなく側面、斜めから両手を上げた状態でも見てみましょう。

②あおむけに寝て、右の乳房を調べるときは、左手3本の指の腹で乳房を隅々までしこりがな
いか、乳頭からの分泌物がないか、調べます。左側も同じように全体を触ってみましょ。乳

房を指先でつまんで調べると異常がなくても、しこりのように感じてしまうので、必ず指の腹で調べます。

③最後にわきの下に手をあててしこりがな
いか見てみましょ。

自己検診で異常があれば、早めに医療機関を受診ましょ。

○乳房エックス線撮影

乳房を左右、上下はさんで平らにしエックス線撮影をして、しこりや乳房の異常を調べる検査です。しこりのほか乳がんの初期症状として見られる石灰化(カルシウムの沈着)を見つけることができます。

○超音波検査

乳房にゼリーをぬって超音波をあて、その反射を画像にしてみる検査です。触診では分からない小さなしこりや浸潤したがんを見つけることができます。

12月は古河市乳がん集団検診の時期です。すでに予約した人には、検診日のお知らせをましました。忘れずに、乳がん検診を受けましょ。そして、検診で精密検査が必要といわれた人は、結果を恐れずに専門の医療機関で受診ましょ。検診の機会を生かして、楽しい充実した毎日を過ごましょ。(健康推進課)

表紙写真

愛情・情熱を伝えるといわれる赤いバラ……。

三和地区の「バラ」は、県内一の生産量を誇っており、平成11年度に施設栽培の花としては初の茨城県銘柄産地に指定ましました。

ぜひ、クリスマスには、大切な人に「三和のバラ」をプレゼントしてみてはいかげましょか。

寄付

(南城西不動産^{かつおう}青木克王代表取締役)が、教育環境整備のため、小中学校等へ備品(再使用品)を寄付【生徒用机136脚・椅子158脚、スチール事務机・椅子1セット、教卓1台、長テーブル2台、壁時計1台】

人口と世帯

(11月1日現在 住民基本台帳から)

総人口 146,073人(+44)

男 73,251人

女 72,822人

世帯数 52,779世帯(+90)

()内は前月比

ごぼうとコーンのサラダ <肥満予防>



エネルギー=127kcal たんぱく質=4.1g
カルシウム=118mg 脂質=7.8g 塩分=0.5g

マヨネーズ大さじ2、酢小さじ1、塩・こしょう少量

作り方

- ①ごぼうは包丁の背で皮をこそげて洗い、3cmの長さのさがきにし、水にしばらくつけてから、少量の酢を入れたお湯で、ゆでて、お湯をきる。
- ②チーズは細かくさく。
- ③きゅうりは、うすく輪切りにする。
- ④ボウルに《ドレッシング》の材料を入れてよくまぜ、全部の材料を入れてあえて、器にもる。

(食生活改善推進協議会)

材料(4人分)

ごぼう小1本、さけるチーズ1本、きゅうり1/2本、ホールコーン缶大さじ4

《ドレッシング》

アイドル登場

笑顔満点！！

矢吹歩花ちゃん・芽以ちゃん
(5歳6カ月・3歳7カ月・中田新田)



わが家のアイドル娘、芽以は、5月で3歳になりました。食欲旺盛でぐんぐん成長し、今では5歳のお姉ちゃんと双子に間違えられるほど、大きくなってくれました。

そんな大好きなお姉ちゃんと笑い合ったり、けんかをしたり毎日飽きることなく過ごしていく中、いたずらをしている時の2人の仲の良さは、驚くほどの協調性と集中力を感じ「まったく！！」と言いながらも抱きしめてしまいます。パパ、ママ、歩花お姉ちゃんの大好きな芽以！これからも元気で芽以らしく大きくなってね。
(父：香介さん・母：恵さん)

古河風土記

貧乏神か福の神か

〜ササガミの正体〜

上大野のSさんに、ササガミのことをうかがったのは、もう20年以上も前のことになる。Sさんはカヤの束の先を結び、裾を開いて立てたササガミサマのウマなるものを作って、12月8日と2月8日の行事について語ってくれた。これでは、その結び目にソバをすくって乗せたのだという。なんとも神様をまつるには、お粗末な感じ

もしていたのだが、とにかくその後も気になってしょうがないので、ことあるたびに各地で聞いて歩いた。つまりなんとなくササガミにとりつかれてしまったのだ。



▲主屋の裏のササガミサマ (昭和60年撮影)

そもそもササガミというのは、茨城県から栃木県にかけて顕著にみられる習俗で、多くは12月8日と2月8日に、3本の笹竹の先端を結び、庭に立てて、なにかしらの神霊の来訪を臨むものであった。ササガミは、神様そのものをさすこともあるが、どちらかというと、この笹竹のしつらえそのものもある。また、来訪する神霊といえ、一つ目の妖怪、疫病神、鬼、貧乏神……と、物の怪とも神とも言い難く、じつにさまざまである。とりわけてこのササガミには、貧乏神というイメージがつい

ており、ある人いわく「ササガミは貧乏神で、借金取りに追われて、暮れには家の裏に逃げ隠れ、年が明けると晴れて表に出られる」(上大野)と。こんな情けない一面を持つているかと思えば、境町伏木ではササガミが疫病神に姿を変えて裏の勝手口を訪ねてくるという、お茶目であるがちよっと迷惑な一面もある。

このような負のイメージがつきまとうササガミのだが、東山田では、ササガミのしつらえを、昭和20年頃まで、1月20日の恵比須講の日につけていたという家がある。福德を授ける恵比寿様の祭りに、貧乏神の象徴であるササガミのしつらえをするというのだ。茨城県南部では、ササガミのしつらえにもない恵比寿様が稼ぎに出掛けるとか、帰ってくるとか正のイメージをもって由緒が語られている。このササガミ、意外に悪いヤツでもなさそうである。福德、とりわけ富の増減に力を発揮する神霊のようだ。

そんなササガミの両義性を知って、ひとまず安心している。しかし、いつになっても現状を打破できない貧乏性。わたくしのまわりには、福神には縁遠いホントの貧乏神なのではないのだろうか、とさえ思う今日このごろである。
(古河歴史博物館学芸員 立石尚之)

平成19年12月1日発行

●発行所／〒300610291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所 ☎0280(92)3111
●編集／広報広聴課 ●ホームページ／<http://www.city.futaba.lg.jp/>